

秋田市農山村資源活用基本構想 概要版

I. 基本構想策定の目的

本基本構想は、新型コロナウイルス感染症を契機とした地方回帰意識の高まりや、テレワークの普及、ワーケーションへの関心の高まりなどを捉え、豊かな自然環境や農山村資源を有する本市の強みを活かして、地方への新たな人の流れを呼び込むことで、関係人口の拡大、地域の活性化を図ることを目的に、農山村資源活用の方向性や重点施策を示すものです。

なお、本基本構想は、全市域を対象とするものですが、本市の中でも豊かな自然、農山村資源を有する河辺地域、雄和地域、北部周辺地域を重点区域とします。



II. 農山村資源活用の方向性（将来像）

「参加・交流型」「就労型」「直接寄与型」の3つに重点を置き、体験プログラムなどの拡充やメニューの充実などにより、地域への関心を高めていくことを目指します。

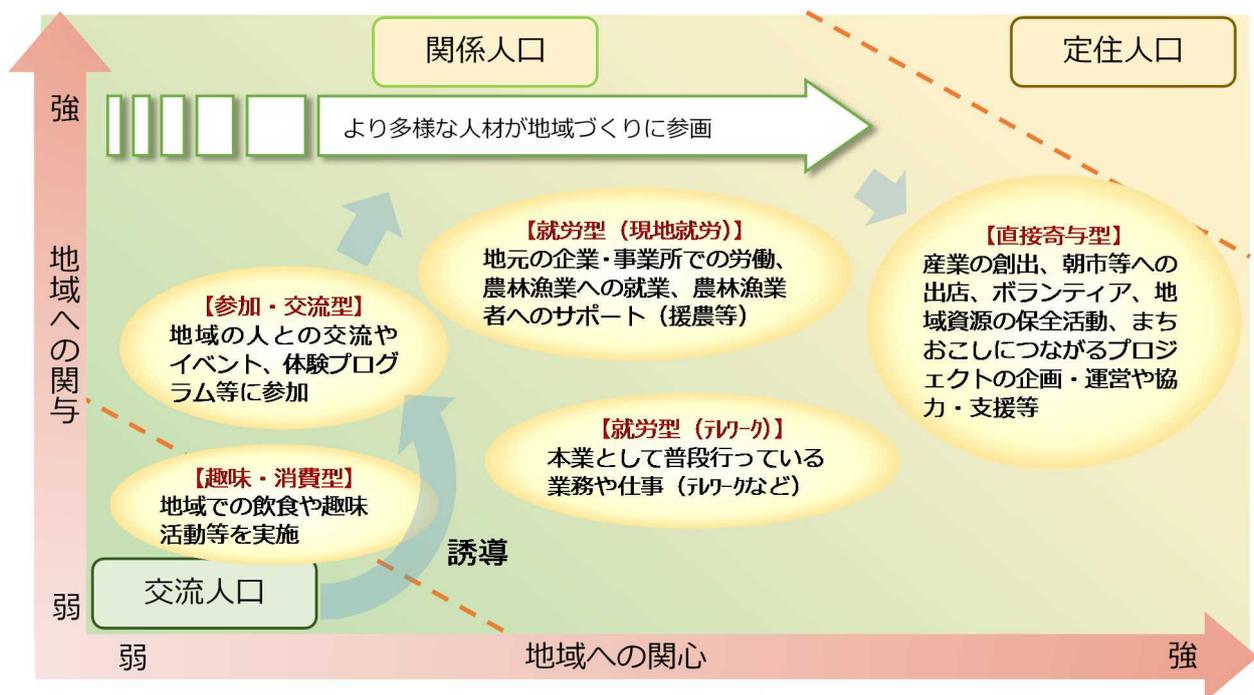


図 関係人口の考え方

Ⅲ. 農山村資源活用の重点施策

本市が重点的に取り組むべき9施策を整理しました。これらの実現化にあたっては、今後ブラッシュアップを行いながら進めていくこととします。

1. 自然資源を活かした「参加・交流型」のメニューの充実

【取組の方向性】

- 観光コンテンツや「参加・交流型」のメニューの充実、受入体制の構築の推進
- 景勝地における公園や遊歩道、散策路、案内表示等の整備による地域一体での魅力向上

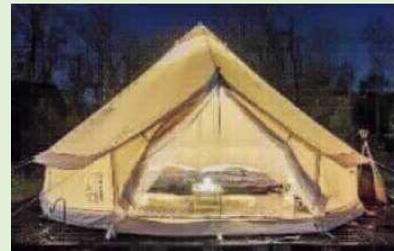


写真 グランピング

【主な取組】

- 農業、自然、地域文化など、体験メニューの充実
- 農村公園や水辺公園、遊歩道、散策路など、周辺環境の整備 など



写真 自然体験 出典：環境省

2. 農山村資源を活かした「参加・交流型」のメニューの充実

【取組の方向性】

- 「宿泊」「食事」「体験」「買い物」等を提供する施設や、「参加・交流型」のメニューの充実
- 農家民宿や農家レストランなどを対象とした支援の推進
- 農山村資源として、古民家や原風景の保存と活用
- イベントや地域のまつりなどの地域活動に、来訪者や学生等が主体的に参加できる仕組みの構築

【主な取組】

- 田舎暮らし体験など、農村体験メニューの充実
- 富裕層や夏休みの子どもなど、ターゲットごとのメニューの充実
- アウトドアイベント、スポーツなどを通じた交流機会の創出 など



写真 古民家を活用した宿泊施設

出典：農林水産省

3. テレワーク、ワーケーションの促進による「就労型」のメニューの充実

【取組の方向性】

- テレワーク、ワーケーションに対応した執務環境の整備、テレワーク、ワーケーションに関心がある人や企業を呼び込むための取組の促進
- テレワーク、ワーケーションをきっかけとした地域や地元企業、大学等との交流の促進

【主な取組】

- 温泉施設や農家民宿、コテージといった宿泊施設などへのテレワーク、ワーケーションに対応した執務環境整備の支援
- 廃校や公共施設の空きスペース等を活用したワーキングスペース（レンタルオフィス、コワーキングスペース等）の整備 など



写真 テレワーク執務環境 出典：観光庁

4. 農業を軸とした「就労型」「直接寄与型」のメニューの充実

【取組の方向性】

- 新規就農希望者に対する農業指導、農家への派遣などの支援の充実
- 学生や研究者等が、農業体験等を通じて、地域住民と協働で活動できる仕組みの構築
- 農業に関連した副業や二地域居住の促進などによる関係人口の拡大

【主な取組】

- 新規就農希望者への農業指導、農家への派遣の促進
- 学生等の農業インターンシップや援農ボランティアの促進 など



写真 農業研修

出典：秋田市園芸振興センター

5. 農山村資源を活用したビジネスの創出

【取組の方向性】

- 本市の豊かな自然や水資源、農山村資源を有効活用したビジネスの創出や事業の拡大の支援による関係人口の拡大、地域経済の活性化

【主な取組】

- 地域未来投資促進法などを活用した民間事業者への支援（日本酒やウイスキーを核とした施設の整備等）
- 豊かな自然や水資源、農山村資源を活用した起業者や事業拡大への支援 など



写真 魚問屋が耕作放棄地を再生し農園レストラン、ワイナリーを開設

出典：農林水産省

6. 農山村景観の保全と活用

【取組の方向性】

- 農山村景観の保全と有効活用の推進
- 農用地・農業用施設や農業用水利施設の保全、持続的な森林整備の推進
- 空き家バンク等と連携した空き家の適正な管理、空き家の有効活用の推進

【主な取組】

- 農用地、水路、農道等の地域資源の保全と質的向上の推進
- 空き家に関する情報提供や支援の推進
- 古民家や原風景の保存・活用 など



写真 河辺地域の農山村景観

出典：秋田市

7. 情報発信等の充実

【取組の方向性】

- ターゲットを意識した戦略的な情報発信
- 首都圏等の居住者や企業を対象とした、動画、パンフレット等の活用や、様々な機会を捉えた情報発信による交流人口・関係人口の拡大、テレワーク・ワーケーションの促進
- 「宿泊」「食事」「体験」「買い物」などのメニューの組み合わせ、市民団体や民間事業者等との連携による農山村資源の一体的な情報発信

【主な取組】

- 多様なツールを用いた戦略的な情報発信の推進
- 首都圏等の居住者や企業を対象とした情報発信の推進
- メディアの活用やイベント等の実施 など

8. 交通手段の充実・支援

【取組の方向性】

- 首都圏等から本市までの交通費等の支援の拡充
- 来訪者が農山村地域等を観光・交流する際の交通手段の確保

【主な取組】

- 来訪者に対する交通費等の支援の拡充
- カーシェアやレンタサイクルなど、農山村地域等での交通手段を確保できる仕組みの構築

など

9. 中間支援組織等の形成

【取組の方向性】

- 農山村地域の一体的なプロデュース、マネジメントなどを行う、都市と農山村をつなぐ中間支援組織等の形成
- 観光やスポーツ、教育、福祉といった他分野との連携による首都圏居住者や企業等に対する受入窓口などの設置

【主な取組】

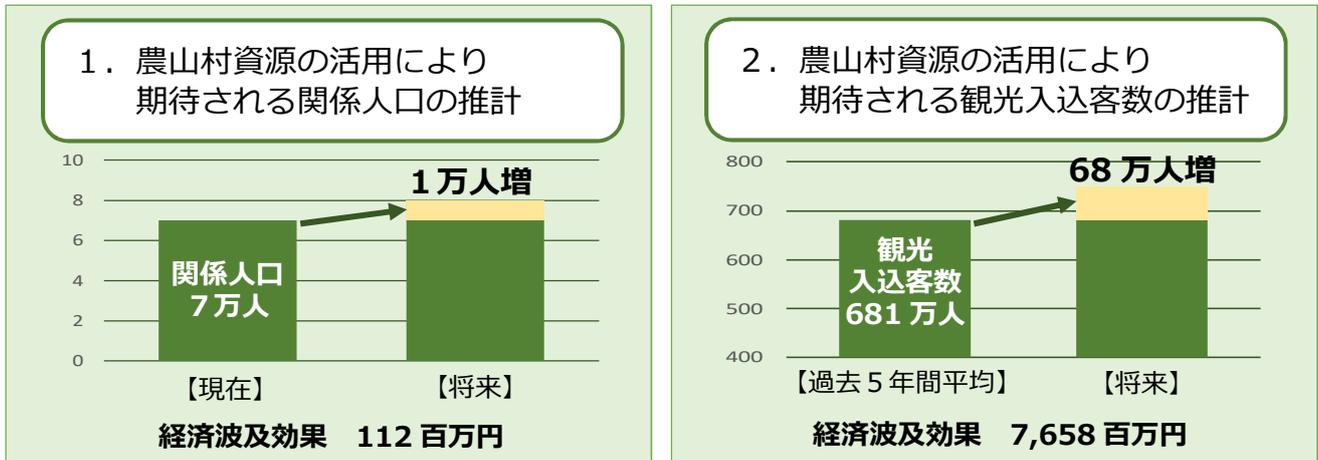
- 都市と農山村をつなぐ中間支援組織の形成
- コーディネーター、農山村ガイドなどの育成



図 中間支援組織のイメージ 出典：秋田市

IV. 基本構想の推進による事業効果の予測

重点施策の実施により期待される事業効果を、関係人口、観光入込客数の推計と、これに伴う経済波及効果により予測しました。



V. 基本構想の推進に向けて

- 今後は、重点施策の実現化に向け、ブラッシュアップを図るとともに、年度ごとに具体の事業を位置づける推進計画を策定し、取組を進めていきます。
- 特に、河辺岩見三内地区においては、民間事業者による地域活性化に資する事業が計画されていることから、この動きに合わせ、本市として、周辺環境の整備や地域の活性化に資する事業等を先行して実施したいと考えています。
- 河辺地域や雄和地域、北部周辺地域をはじめとする他の農山村地域においても、各々の地域の特色を活かしながら、都市農村交流の推進や農山村景観の保全などを行うとともに、民間事業者の取組に対しても支援を行うなど、地域活性化に取り組んでいきたいと考えています。

お問い合わせ先 秋田市産業振興部産業企画課
TEL.018-888-5725

<令和3年8月策定>